取扱いの趣旨

HBc抗体半定量･定量については、HBVの感染既往を確認するための検査であることから、B型慢性肝炎の経過観察に対する算定は、原則として認められない。

DX審査支払機構が公表している取扱いの全文

【検査】　《令和7年7月31日》

612　Ｂ型慢性肝炎に対するＨＢｃ抗体半定量・定量の算定について

○　取扱い

Ｂ型慢性肝炎の経過観察に対するＤ013「６」ＨＢｃ抗体半定量・定量の算定は、原則として認められない。

○　取扱いを作成した根拠等

ＨＢｃ抗体半定量・定量については、ＨＢＶの感染既往を確認するための検査である。
以上のことから、Ｂ型慢性肝炎の経過観察に対するＤ013「６」ＨＢｃ抗体半定量・定量の算定は、原則として認められないと判断した。

グラフの見方

1　棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
　当該事例の取扱いの対象となる診療行為（医薬品、特定器材）を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、取扱いの趣旨に該当するレセプト件数

2　折れ線グラフ
　取扱いの趣旨に該当するレセプトのうち、
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	：取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	：検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合　85.40%
- 検証対象都道府県　35

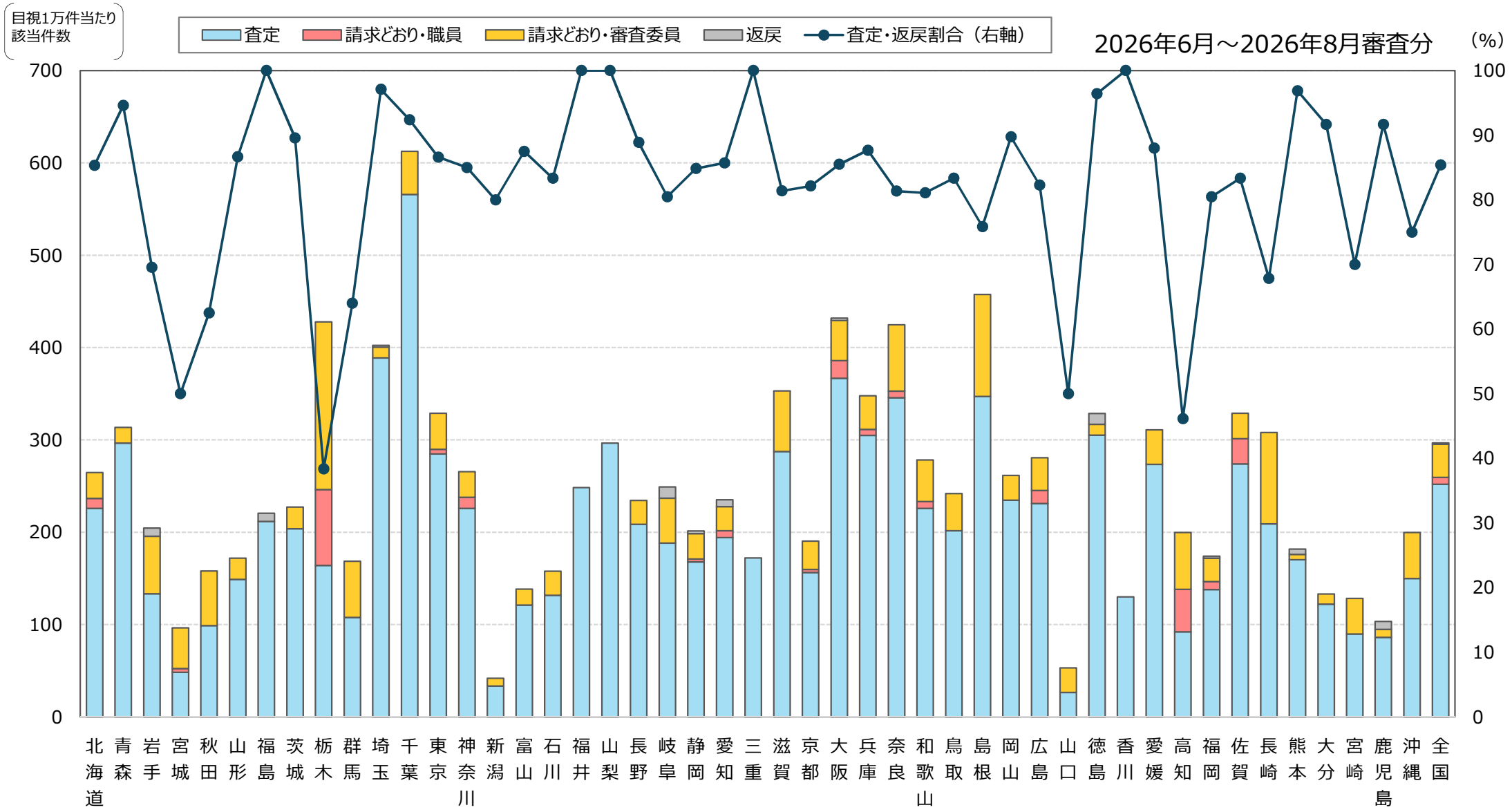
検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	栃木、高知、宮城、山口、秋田、群馬、長崎、岩手、宮崎、沖縄、島根、岐阜、福岡、和歌山、奈良、滋賀	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	栃木、高知、佐賀、大阪、広島、神奈川、北海道、福岡、和歌山、愛知、奈良、兵庫、東京、宮城、京都、静岡	対象１万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	栃木、島根、長崎、奈良、滋賀、岩手、高知、群馬、秋田、沖縄、岐阜、千葉、和歌山、宮城、大阪、鳥取	〃

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数（全国）	【条件】	3,589件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	3,065件
検証を必要とする審査	請求どおり	524件

一般612　B型慢性肝炎に対するHBc抗体半定量･定量の取扱い

【認めない事例】



	北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡	愛知	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	全国
該当件数	150	37	23	24	8	15	25	48	73	25	207	328	650	220	5	8	12	11	19	27	41	66	161	21	43	56	517	219	59	37	12	29	39	79	4	28	9	25	13	82	12	28	32	12	10	12	28	3,589
請求どおり件数	22	2	7	12	3	2	0	5	45	9	6	25	87	33	1	1	2	0	0	3	8	10	23	0	8	10	75	27	11	7	2	7	4	14	2	1	0	3	7	16	2	9	1	1	3	1	7	524

【該当件数】 取扱いの趣旨に該当したレセプト件数